



## 熊谷市立妻沼西中学校

校長 根本恵美子

### 一 本校の沿革

昭和三十九年四月、妻沼町立妻沼中学校、太田  
村立太田中学校が統合し、妻沼町立妻沼西中学校  
として歩み出しました。翌四十年四月には、男沼  
村立男沼中学校が統合。平成十七年十月に妻沼町  
と熊谷市の合併により熊谷市立妻沼西中学校と  
なりました。平成二十三年度から小島中学校休校  
に伴い、通学区域も広がりました。

学区内にある観清寺に残されている「家庭心得」  
にあるように学校と家庭、地域がひとつになり生  
徒が満足感・達成感を味わい笑顔あふれる学校教  
育を目指し、「学び 磨き 鍛える」の学校教育目  
標の達成を目指しています。

### 二 校章・校歌制定に係るエピソード

#### 1 校章

① 昭和三十九年 制定

② 形ある物で最も安定感を有するものと  
言えば正三角形。その原型を「めぬま」の  
“め”の字を象形して輪郭化し、三箇の鋒  
で『妻沼』『太田』『男沼』の地区を表現。  
併せて教育の真髓を「知徳体」に集約して  
表現しようと試みたものです。知は「知恵  
と英知と知致」、徳は「時を守り、場を清  
め、礼を正す」、体は「心身共に健康」な社  
会人に成長してくれることとし、これを西  
中教育の不易なものとして育ててほしい  
という願いが込められています。

#### 2 校歌

① 昭和四十一年十二月十日 校歌発表会

② 石坂 養平 作詞、山本 れん 作曲で、  
歌詞にある「正義」「努力」「国々の手を繋  
ぐ」精神のもと、学校と家庭、地域が一体  
となり教育活動を行い、多くの卒業生が各  
界で活躍することを願い作成されました。

妻沼西中学校 校歌

石坂香子 作詞  
山本れん 作曲

♩=96 落付いてあがるく

1. おお - とね - は よく やをひら きは た  
2. あが - めん - は ふば つのせい きは た  
3. ひの - もと - の たみ いちお く は

な - ぎ み - な よ - し をほ こ る う  
た - え ん - は ふく のど り ひ  
ま - よ え - る く に ぐ に の て つ

る - わ - し き ふ - ち なら す - や こ  
と - の - こ の つと め なら す - や こ  
な - が - ん と ひが ん こめ お - り ふ

こ れに わ が が く え ん そ び ゆ  
る らい た た て が く え ん は た さ げ ん て

一 大利根は 沃野を拓き

二 あがめんは 不拔の正義

三 日の本の 民一億は

花木みな 容姿をほこる

たゝえんは 不屈の努力

さまよえる 祖国の手を

美わしき 風致ならずや

人の子の つとめならずや

つながんと 悲願こめおり

ここにわが 学園そびゆ

われらまた 守りはたさん

ふるいたて 学園あげて